

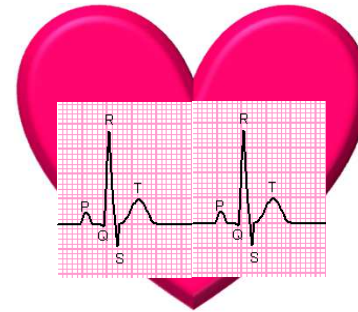
動悸・息切れ  
胸部不快感  
脈が不規則  
(急に速い、遅い)  
高血圧 など

このような症状を感じたら …… **心電図検査 ( E C G )**

心臓のはたらきを調べる、最も一般的な検査です。  
両手足と胸部に電極をつけて、安静にして検査します。



不整脈や狭心症、心筋梗塞など  
心臓の機能異常のある部位やその状態を調べます。



安静時の心電図では検査の時間が短いため、  
心臓に異常があっても、見つかりにくいこともあります。

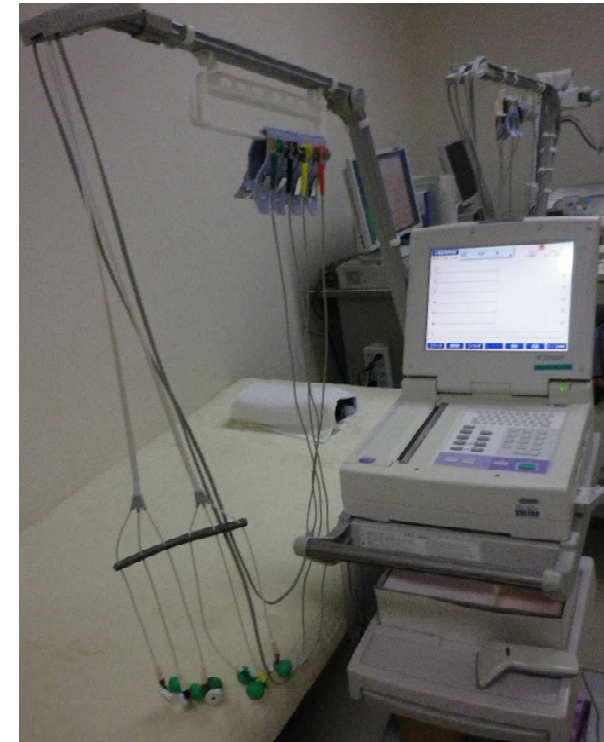
① 運動負荷心電図

運動\* によって心臓に負荷をかけることで、  
動悸や胸痛などの症状が再現したり、心機能の異常が現れやすくなります。  
安静時と運動後の心電図の変化を調べます。

\* 2段の階段を昇り降りする運動 = 『マスター2段階負荷試験』

② ホルター心電図

日常生活の中で現れる、不整脈や狭心症などを診断するための検査です。  
携帯型の心電計を装着し、24時間継続して心電図波形を記録し解析します。



いつも血圧は高いが、  
病院で測ると低くなる  
または  
家では正常なのに  
病院で測ると高くなる  
など

このような症状を感じたら …… **24時間自由行動下血圧測定 (A B P M)**

高血圧症の診断、薬による血圧コントロールの効果判定を主な目的とする検査です。  
そのほか、夜間の血圧の変動が確認できるのはこの検査だけです。  
小型の自動血圧計を装着し、日常生活での血圧を定時的に測定して記録し、  
その血圧の変動パターンを見ます。



- 白衣高血圧（普段は正常だが、病院で白衣を見ると血圧が高くなる）  
仮面高血圧
- ・ 早朝高血圧（起立性など）
  - ・ 夜間高血圧（睡眠時無呼吸症候群、糖尿病、脳血管障害など）
  - ・ ストレス性高血圧（職場高血圧など）

いつもは測定しない時間や環境での血圧を測定することにより、より実際に近い血圧がわかります。



血圧が高め  
 コレステロール値が高い  
 糖尿病  
 足の冷え・しびれ  
 など

このような症状を感じたら …… **血圧脈波検査 (ABI/CAVI)**

動脈硬化の有無やその程度、血管の状態を調べるための検査です。  
 両上腕と両足首の血圧を測定し、心電図なども同時に記録します。



動脈血管の詰まりや硬さがわかります。  
 硬さの程度からおおよその血管年齢を知ることができます。



被検者レポート		測定日: 2012年 2月 7日 17:57:03		
氏名:	フクダ イチロウ	年齢:	25 歳	
ID:	000000000007	性別:	男	
所属1:	内科	所属2:	循環器科	
医師名1:		医師名2:		
医師名:				
身長:	167.0cm	体重:	54.0kg	
BMI:	19.4kg/m <sup>2</sup>	HR:	69[拍/分]	
検査目的	項目	測定値	標準値	検査結果
動脈の硬さの程度 CAVI	右	6.4	~8.9	血管の硬さは20代前半に相当します。
	左	6.3	(6.5±0.7)	血管の硬さは20代前半に相当します。
動脈の詰りの程度 (ABI)	右	1.10	0.91~1.40	正常範囲です。
	左	1.10		正常範囲です。
CAVI - 年齢グラフ				検査の結果は いかがでしたか
右上腕血圧 116/ 73 ( 93 ) 脈圧 43	左上腕血圧 122/ 73 ( 95 ) 脈圧 49	今回の検査では正常範囲です		
右足首血圧 134/ 71 ( 89 ) 脈圧 63	左足首血圧 134/ 77 ( 95 ) 脈圧 57	適切な運動と食事を心掛けましょう		
次回検査日 年 月 日				
コメント				



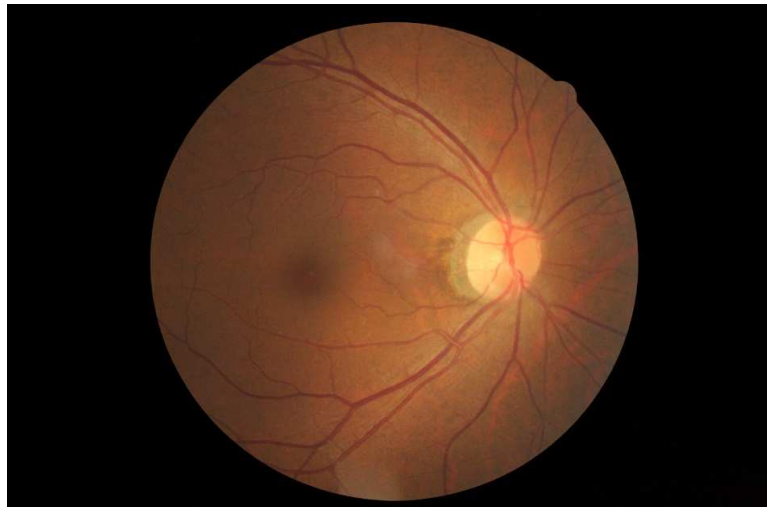


この他にも、おもにドックや健診では、**眼底カメラ**（無散瞳）による動脈硬化症の検査も行っています。

目の最も奥の部分（眼底）にある血管は、体外から直接観察することができます。この血管をカメラで撮影して、出血の有無や血管の形状などを調べる検査です。



眼球に生じる病気だけでなく、細かい血管の動脈硬化や高血圧、糖尿病による変化を確認することができます。



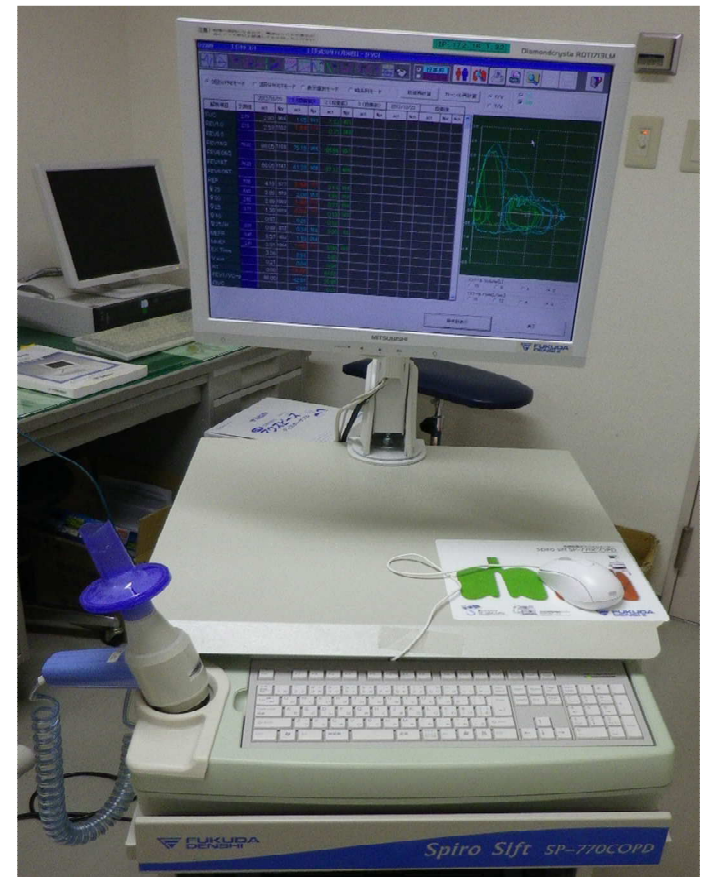
息切れ  
咳や痰が長期間続く  
呼吸が苦しい  
喫煙者 など

このような症状を感じたら …… **呼吸機能検査**

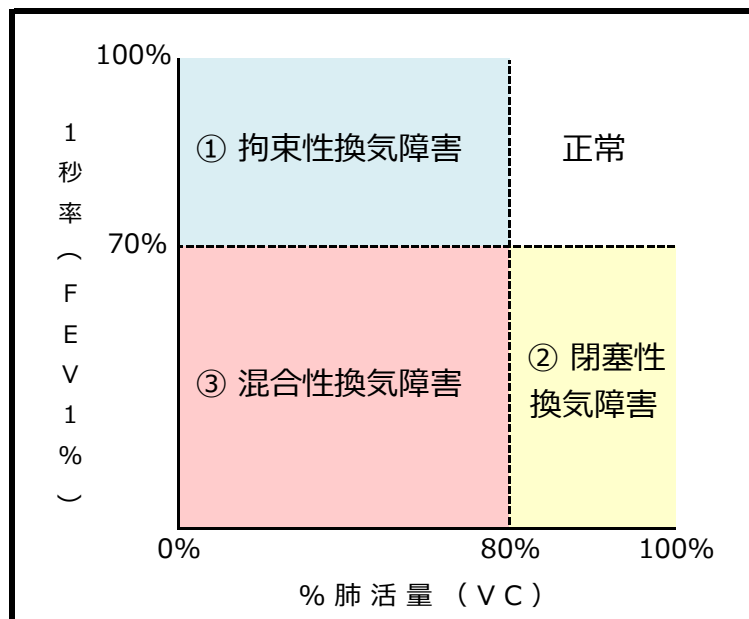
肺のはたらき（換気能力）に異常がないかを調べる検査です。  
使い捨てマウスピースを使い、  
口だけで息を吸ったり吐いたりして肺を出入りする空気の量や速度を測定します。



COPD（慢性閉塞性肺疾患）、気管支ぜんそく、肺気腫など  
呼吸機能障害の有無や障害のパターンを判定します。  
そのほか、喘息薬の効果判定を行うこともあります。



### 呼吸機能障害の分類



- ① 拘束性換気障害  
肺や筋肉の異常により肺が広がりにくくなって起こる  
肺線維症、塵肺、広範な肺炎などの肺疾患  
サルコイドーシス、側弯症など
- ② 閉塞性換気障害  
気道が細くなって起こる  
COPD（慢性閉塞性肺疾患：肺気腫を含む）  
気管支ぜんそく、細気管支炎など
- ③ 混合性換気障害  
① や ② の病気が重症化した状態  
結核後遺症など

睡眠中の

- いびきが大きい
  - 呼吸が止まる
  - 何度も目が覚める
- 日中の居眠り など

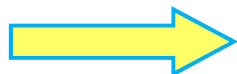
このような症状を感じたら …… **終夜睡眠時呼吸モニター**

睡眠時無呼吸症候群（SAS）の診断を行うための検査です。

① 簡易検査

自宅で検査できます。

携帯型の機器を装着し、  
日常生活における睡眠中の呼吸や血液の酸素濃度の変化を記録します。



無呼吸の回数を算出して、睡眠時無呼吸症候群を判定します。

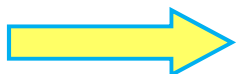


さらに詳しい検査が必要となれば

② ポリソムノグラフィー（PSG）

この検査を行うためには、1泊の入院が必要となります。

睡眠中の呼吸・脳波・心電図・眼球の動き・血液の酸素濃度など、  
さまざまな項目を測定し記録します。



得られた多くの情報を総合的に解析して、  
最終的に睡眠時無呼吸症候群を診断します。

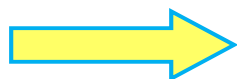


頭を強く打ったり  
大けがをしたことがある  
てんかん発作  
意識消失  
など

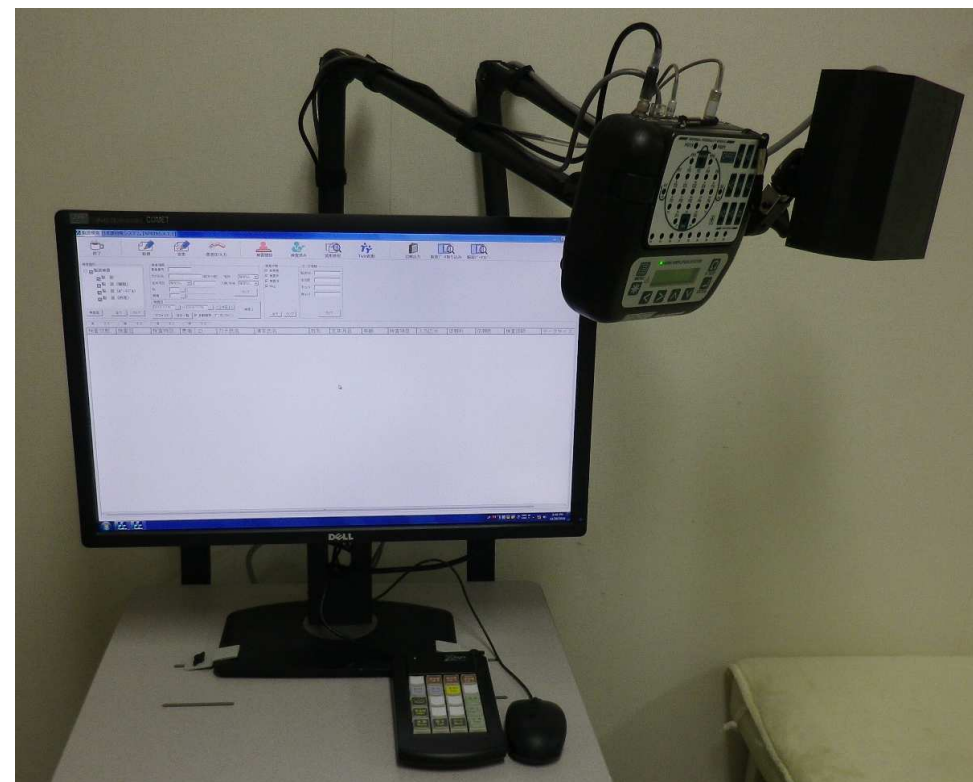
このような症状を感じたら …… **脳波検査 ( E E G )**

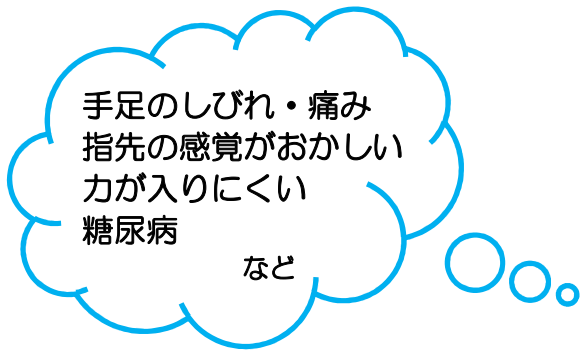


頭部に電極をつけて、リラックスした状態で検査します。  
検査中には開閉眼や深呼吸をしたり、音・光による刺激を付加しながら行います。



てんかんの場合は、この検査によって診断を確定することが可能です。  
そのほか、特徴的な脳波の変化から、  
脳機能の状態や病気の有無を確認します。





このような症状を感じたら …… **神経伝導速度検査**



手または足に電極を付けて弱い電気で神経を刺激し、その刺激の伝わる速さを計測する検査です。

刺激する神経によって ① 運動神経伝導速度 (M C V)  
② 感覚神経伝導速度 (S C V) の2種類の検査があります。



糖尿病による神経障害など、神経の病気や神経の機能状態の把握した  
障害部位やその程度について判断するのに役立ちます。

